

高等学校 芸術（音楽）

解答についての注意点

- 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 大問①～大問②については、記述式解答用紙に、大問③～大問④については、マーク式解答用紙に記入してください。
- 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に氏名を記入し、受験番号を右の記入例に従って、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。※1
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。※2
- 大問③～大問④については、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の下にある数字のうち一つを次の〔解答例〕のように黒くぬりつぶしてください。間違えてぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。

マーク式解答用紙 受験番号記入例 ※1

受験番号記入欄						
位	10万	万	千	百	十	一
数字で記入	1	9	8	3	7	5
右の欄に受験番号をマークして下さい。	●	①	①	①	①	①
	②	②	②	②	②	②
	③	③	③	●	③	③
	④	④	④	④	④	④
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	●
	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
	⑦	⑦	⑦	⑦	●	⑦
	⑧	⑧	●	⑧	⑧	⑧
	⑨	●	⑨	⑨	⑨	⑨
	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

記述式解答用紙 受験番号記入例 ※2

受験番号	1 9 8 3 7 5
------	-------------

〔解答例〕 ② 大阪府庁の所在地はどこか。1～5 から一つ選べ。解答番号は

1 堺市 2 東大阪市 3 大阪市 4 枚方市 5 高槻市

この場合、正しい答えは「3 大阪市」ですから解答用紙の解答番号 ④ の下に並んでいる① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶせばよいのです。

④
①
②
●
④
⑤

- その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 これから放送されるア～カの音楽を聴いて、次の（１）～（３）の問いに答えよ。

（１）ア～エの楽曲名と作曲者名を記せ。

（２）① オの曲名を記せ。

② オで使用されている楽器名を記せ。

（３）カの音楽に関連のある国または地域を下の語群から一つ選び、解答用紙に記号で記せ。また、使用されている撥弦楽器名を記せ。

（語群）	A インドネシア	B ウクライナ	C 朝鮮半島
	D チロル地方	E アンデス地方	

2 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次の総譜は、交響曲第5番ハ短調作品67「運命」(ベートーヴェン作曲)の冒頭の部分である。

総譜を見て、以下のア、イの問いに答えよ。

A **Allegro con brio**

Flute I . II

Oboe I . II

Clarinet I . II
in B^b

Bassoon I . II

Horn I . II
in E^b

Trumpet I . II
in C

Timpani
in C . G

B **Allegro con brio**

Violin I

Violin II

Viola

Cello

Contrabass

ア Aの部分（1小節目～5小節目）について、解答用紙の総譜の全パートに拍子記号及び調号を記入し、全休符を記していない小節に、以下に示す音符や記号の中から必要なものを使用して適切な総譜として完成せよ。

【音符や記号】

全音符、二分音符、四分音符、八分音符、全休符、二分休符、四分休符、
八分休符、三連符、タイ、ピアニッシモ、ピアノ、メゾピアノ、メゾフォルテ、
フォルテ、フォルティッシモ、フェルマータ、a 2

イ Bの部分を用いて、リコーダーアンサンブル用の楽譜を作成する。使用する楽器は、ソプラノリコーダー、アルトリコーダー、テナーリコーダーとし、解答用紙の五線譜に記入せよ。

なお、調性は、イ短調に移調すること。

(2) 次の楽曲を箏で演奏する。解答用紙の縦譜を完成せよ。なお、調弦については平調子とし、第一弦を一点二音とする。



3 次の(1)～(15)の問いに答えよ。

(1) 次の楽器のうち、シングルリードを使用する楽器として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 オーボエ
- 2 ファゴット
- 3 箏箏
- 4 イングリッシュホルン
- 5 サクソフォーン

(2) シューベルト作曲のピアノ五重奏曲「ます」の楽器編成として、適切なものを1～5から一つ

選べ。解答番号は

- 1 ピアノ、1st.ヴァイオリン、2nd.ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ
- 2 ピアノ、フルート、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ
- 3 ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
- 4 ピアノ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット
- 5 ピアノ、フルート、1st.ヴァイオリン、2nd.ヴァイオリン、チェロ

(3) 一般にイタリアオペラに区分されるオペラ作品として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 魔弾の射手
- 2 イリス
- 3 ばらの騎士
- 4 スペードの女王
- 5 こうもり

(4) 舞曲の説明として、適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 サラバンドは、3拍子の舞曲であり、14世紀のヨーロッパで流行した。起源はメキシコとも言われている。
- 2 ガヴォットは、17世紀のフランスにおいて、オペラやバレエに用いられた。J. S. バッハなど多くの作曲家が組曲に取り入れた。
- 3 メヌエットは、17世紀半ばのフランス宮廷において、宮廷舞踏に取り入れられ、全ヨーロッパに広まった。
- 4 マズルカは、ポーランド舞曲をさし、ショパンなどの作品がよく知られている。
- 5 ワルツは、19世紀のウィーンで流行した3拍子の舞曲であり、現代においても親しまれている。

(5) アルス・ノヴァの説明として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 フィリップ・ド・ヴィトリが15世紀に著した理論書の標題である。
- 2 アルス・ノヴァを代表する作曲家に、ジョスカン・デプレがいる。
- 3 古い技法という意味であり、13世紀～14世紀のポリフォニー音楽をさす。
- 4 一般に14世紀イタリアの音楽をさす用語である。
- 5 代表的な作曲技法として、リズム定型を組み合わせたアイソリズム(イソリズム)を用いている。

(6) グランドピアノの説明として、最も適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ピアノは、ピアノフォルテの略称である。
- 2 和声楽器と旋律楽器の両面の要素を備えている。
- 3 ピアノの先行楽器としては、クラヴィコードやハープシコードがある。
- 4 ペダル機構を備えており、むかって右側のペダルはシフティングペダルと呼ぶ。
- 5 標準的なピアノの鍵盤の数は、黒鍵36、白鍵52の88鍵である。

(7) パッヘルベル作曲の「カノン」のコード進行として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 D → A → F[#]m → G → D → G → A → A₇
- 2 D → G → A → G → D → G → A → A₇
- 3 D → A → Bm → F[#]m → G → D → G → A
- 4 D → G → A → D → Bm → G → D → G
- 5 D → A → F[#]m → Bm → G → D → G → A

(8) リトミックは、エミル・ジャック・ダルクローズによる音楽教育法である。リトミックやダルクローズの説明として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 リトミックは、舞踏や演劇の分野でも取り入れられている。
- 2 ダルクローズは、フランスの音楽教育家、作曲家である。
- 3 ダルクローズの代表的な作曲作品は、「ハーリ・ヤーノシュ」である。
- 4 ダルクローズの「子供のための音楽」は、日本をはじめ世界各国の音楽教育に影響を与えた。
- 5 リトミックは、歌うことを音楽指導の基礎とし、民謡と芸術音楽の両方を用いる。

(9) 20世紀ヨーロッパにおける作曲家やその作品について記述した文章として、適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

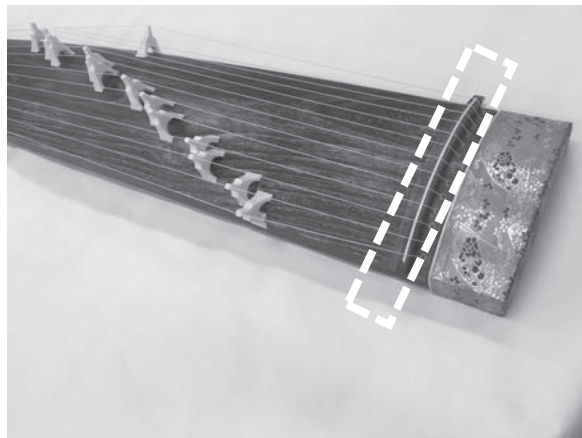
- 1 シェーンベルクの「月に憑かれたピエロ」では、声のパートはシュプレッヒシュティンメで朗誦する。
- 2 ベルクの「ヴォツェック」は、20世紀の代表的なオペラとして評価されている。
- 3 ヴェーベルンは、シェーンベルクやベルクらとともに十二音技法を用い、彼の作曲した作風は神秘主義と呼ばれた。
- 4 ブーレーズの代表作には、6人のソリストと室内オーケストラとライヴ・エレクトロニクスのための「レポン」がある。
- 5 メシアンは、鳥のさえずりを音符で書き、これらの書き写しを楽曲の素材として用いた。

(10) 箏における調弦法と、その調弦法を用いた際に同じ高さの音になる弦名との組合せとして、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

	(調弦法)	(弦名)
1	平調子	一と五
2	乃木調子	二と五
3	平調子	二と五
4	乃木調子	一と三
5	平調子	五と十

(11) 次に示す箏の写真の白い点線で囲った部分の名称として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 竜頭 2 竜甲 3 竜尾 4 竜舌 5 竜角



(12) 箏の演奏法に関する説明として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 生田流では角爪を使用するため、箏に対して身体を少し斜め左向きに座って演奏する。
- 2 山田流では角爪を使用するため、箏に対して身体を正対して座って演奏する。
- 3 生田流では丸爪を使用するため、箏に対して身体を少し斜め左向きに座って演奏する。
- 4 山田流では丸爪を使用するため、箏に対して身体を少し斜め右向きに座って演奏する。
- 5 生田流では丸爪を使用するため、箏に対して身体を正対して座って演奏する。

(13) 雅楽において、主旋律を担当する楽器として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

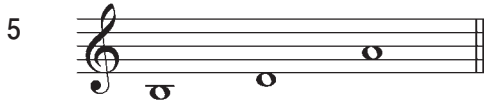
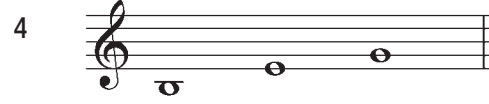
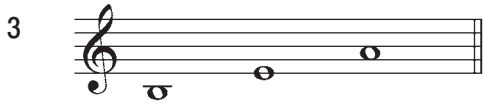
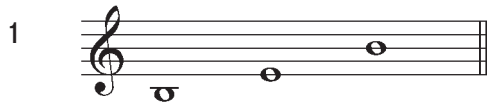
- 1 琵琶 2 箏 3 箏 4 鉦鼓 5 笙

(14) 能における囃子で、使用する楽器として、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 笛（能管） 2 小鼓 3 大鼓 4 太鼓 5 釣り太鼓

(15) 三味線の調弦で、三下りの調弦における、一の糸、二の糸、三の糸の音として、適切なものを1～5から一つ選べ。但し、一の糸の音を口音とする。解答番号は



4 「高等学校学習指導要領（平成21年3月告示）」並びに「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【高等学校 芸術（音楽）】（平成24年7月）国立教育政策研究所」の内容について、次の（1）～（8）の問いに答えよ。

（1）「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第1款 目標」について、空欄に当てはまる内容として適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

第1款 目標

芸術の幅広い活動を通して、、豊かな情操を養う。

- 1 芸術文化についての理解を深め、芸術の諸能力を伸ばし、感性を高め、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに
- 2 芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、感性を高め、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに
- 3 感性を高め、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、芸術文化についての理解を深め、芸術の諸能力を伸ばし
- 4 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め
- 5 感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに

（2）「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第1 音楽 I 2 内容 A 表現（1）歌唱 エ」の内容として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して歌うこと。
- 2 様々な表現形態による歌唱の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。
- 3 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって歌うこと。
- 4 曲種に応じた発生の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。
- 5 様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現上の効果を生かして歌うこと。

(3) 評価の観点名の一つとして、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 音楽表現の知識・理解
- 2 音楽表現の思考力・判断力・表現力
- 3 音楽への関心・意欲・態度
- 4 鑑賞の創意工夫
- 5 音楽表現及び鑑賞の技能

(4) 学習指導要領を踏まえ、音楽Ⅰの特性に応じた「音楽表現の創意工夫」の評価の観点の趣旨として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。
- 2 音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組み、表現を工夫している。
- 3 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
- 4 音楽や音楽文化に関心を持ち、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け創造的に表している。
- 5 様々な表現形態による歌唱、器楽、創作の特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け創造的に表している。

(5) 「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第1 音楽Ⅰ 2 内容 A 表現 (3) 創作 ア」の内容について、空欄に当てはまる内容として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 音階を選んで旋律をつくり、その旋律に副次的な旋律や和音などを付けて、
 音楽をつくること。

- 1 楽しみながら
- 2 創造的に意欲をもって
- 3 音色や奏法の特徴を生かして
- 4 イメージをもって
- 5 全体のまとまりを工夫しながら

- (6) 「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第1 音楽I 2 内容 A 表現 (3) 創作 イ」の内容について、空欄に当てはまる内容として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

イ 音素材の特徴を生かし、 音楽をつくること。

- 1 音程、旋律、リズムなどの要素を用いて、イメージをもって
- 2 言葉や音階の特徴に合わせた音色やフレーズなどに思いや意図をもって
- 3 反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって
- 4 即興的に音を出しながら、音を音楽へと構成していくイメージをもって
- 5 音を音楽へと構成していく過程を大切にしながら、思いや意図をもって

- (7) 「高等学校学習指導要領 第2章 第11節 音楽 第2款 各科目」の科目名について、適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 ソルフエージュ
- 2 音楽史
- 3 演奏研究
- 4 器楽
- 5 鑑賞

- (8) 「高等学校学習指導要領 第2章 第11節 音楽 第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の内容として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 「音楽理論」の内容の(1)及び(2)、「音楽史」、「演奏研究」、「ソルフエージュ」及び「器楽」の内容の(1)については、原則として、すべての生徒に履修させること。
- 2 「ソルフエージュ」の内容の(1)及び(2)、「合唱」、「合奏」及び「創作」の内容の(1)については、原則として、すべての生徒に履修させること。
- 3 「音楽理論」の内容の(1)及び(2)、「歌唱」、「器楽」、「創作」及び「鑑賞」の内容の(1)については、原則として、すべての生徒に履修させること。
- 4 「ソルフエージュ」の内容の(1)及び(2)、「合唱」、「合奏」の内容の(1)については、原則として、すべての生徒に履修させること。
- 5 「音楽理論」の内容の(1)及び(2)、「ソルフエージュ」、「声楽」及び「器楽」の内容の(1)については、原則として、すべての生徒に履修させること。

